



1975年03月14日

フォルクスワーゲンに「ゴルフ」(ニューモデル)加わる

ヤナセ(梁瀬次郎社長)では、フォルクスワーゲンのニューモデル「ゴルフ」を三月下旬から全国各地で開催する'75ヤナセスプリングフェアを機に販売を開始する。

ゴルフが加わったことによりフォルクスワーゲンのラインアップは空冷リアエンジンのかぶと虫型とトランスポーター(キャンプモビル、マイクロバス等)そして水冷フロントエンジンのゴルフ、シロッコ、パサートの五シリーズとなった。

ゴルフには1.1l、1.5lの二種のエンジンにスタンダード、ラグジュリー二種の装備、そしてそれぞれに2ドア車、4ドア車があり、1.5lエンジンにはオートマチックトランスミッションが装着可能だが、日本に輸入されるモデルは排気ガス対策保安基準から1.5lの輸出仕様車「ゴルフLS」の4ドアモデルのみである。

価格は東京地区店頭渡標準価格でつぎの通り

ゴルフLS 159万5千円

ゴルフLSオートマチック 171万5千円

尚、スライディンググルーフは6万円、メタリックペイントは3万円のアップとなる。

以上

資料提供: 株式会社ヤナセ